

わたしたちのまちの財政状況

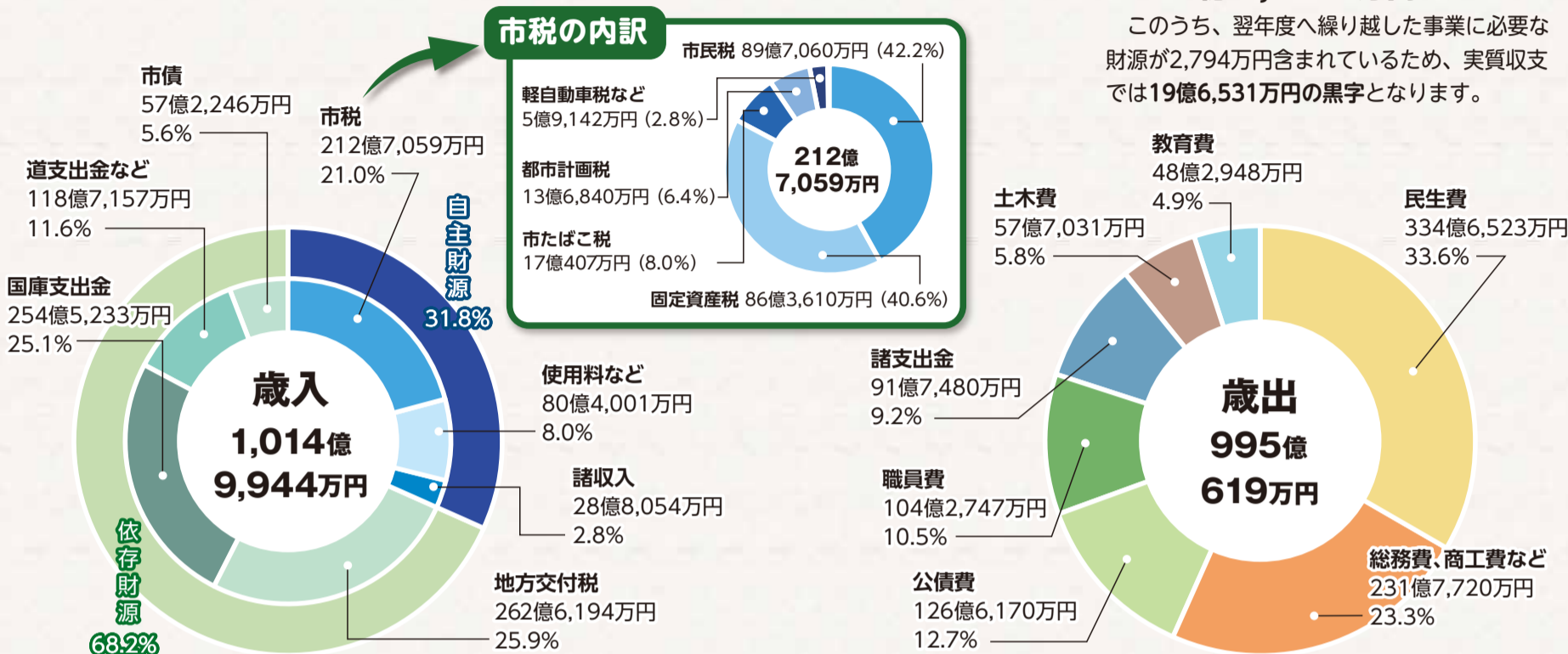
2022 (令和4) 年度一般会計と特別・企業会計の決算

一般会計

一般会計とは、教育や福祉、土木など基本的な行政運営に要する経費を、市税などを主な財源として経理する会計のことです。

歳入総額 1,014億9,944万円 — **歳出総額 995億619万円** = **差引額 19億9,325万円**

このうち、翌年度へ繰り越した事業に必要な財源が2,794万円含まれているため、実質収支では**19億6,531万円**の黒字となります。



2022 (令和4) 年度決算の特徴

例年と比べ、歳入ではふるさと納税などの増により、自主財源の割合が大きくなっています（前年度と比べ約4.4%の増）。また、歳出では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費や光ファイバ整備推進事業費等により、総務費の割合が大きくなっています（前年度と比べ約34億円の増額）。

特別・企業会計の決算

●特別会計の決算

特別会計とは、特定の事業やサービスを提供するため、利用者から保険料や使用料などをいただき、その財源をもとに事業を運営していくための会計のことです。

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額	
国民健康保険	163億823万円	162億8,803万円	2,020万円	
国民健康保険阿寒診療所事業	5億365万円	5億365万円	0	
国民健康保険音別診療所事業	3億2,484万円	3億2,484万円	0	
後期高齢者医療	27億2,114万円	26億7,404万円	4,710万円	
介護保険	保険事業勘定	171億2,294万円	165億7,284万円	5億5,010万円
	介護サービス事業勘定	8,961万円	8,961万円	0
魚揚場事業	1億6,426万円	1億6,426万円	0	
駐車場事業	1億7,788万円	1億1,842万円	5,946万円	
動物園事業	4億1,600万円	4億1,032万円	568万円	

●企業会計の決算

企業会計とは、自ら事業を行い、そこから得たお金で運営していく、民間企業と同様の経理を行う会計のことです。

会計名	区分	収入	支出	収入支出差引額
病院事業	収益的収支(※)	193億497万円	191億2,954万円	1億7,543万円
	資本的収支(※)	16億7,028万円	28億225万円	△11億3,197万円
水道事業	収益的収支	53億8,752万円	43億1,573万円	10億7,179万円
	資本的収支	31億5,018万円	60億1,782万円	△28億6,764万円
工業用水道事業	収益的収支	6,796万円	6,161万円	635万円
	資本的収支	-	1,185万円	△1,185万円
下水道事業	収益的収支	74億5,846万円	66億2,986万円	8億2,860万円
	資本的収支	12億8,171万円	37億3,263万円	△24億5,092万円
公設地方卸売市場事業	収益的収支	1億10万円	8,288万円	1,722万円
	資本的収支	4,535万円	7,682万円	△3,147万円
港湾整備事業	収益的収支	6億8,875万円	5億4,859万円	1億4,016万円
	資本的収支	-	2億6,513万円	△2億6,513万円

※収益的収支…経常的企業活動に伴い、年度内に発生すると見込まれるすべての収益とそれに対応するすべての費用
 ※資本的収支…施設の整備や企業債の償還元金等の支出、またそれらに要する資金としての企業債収入等



主な市有財産の現在高

(2023 (令和5) 年 3月31日現在)

- 有価証券 …… 3億636万円
- 債権 …… 17億8,636万円
- 基金 …… 169億3,310万円
- 土地 …… 4,315万㎡
- 建物 …… 112万㎡
- 山林 …… 4,745万㎡